

地域の力を育もう！支援者のためのネットワーク実践力養成研修

(公益社団法人新潟県社会福祉士会主催・認定社会福祉士認証研修)

クライアントの個別課題を地域課題としてとらえていくプロセスを実体験しながら、地域の問題解決力を引き出す能力を有する支援者を養成することを目的とした研修です。

日程・会場

(全3日間)

(前期2日間)2019年 **7月12日(金)~7月13日(土)**

(後期1日間)2019年 **11月22日(金)**

新潟ユニゾンプラザ 5階 中研修室 (新潟市中央区上所 2-2-2)

定員

50名

研修のねらい

1. 地域で活躍する社会福祉士や福祉・保健・医療の関係者が、地域包括ケアの仕組みや方法論を理解する。
2. 地域を基盤とするソーシャルワーク実践をおこなうために必要となるネットワーク構築・活用のスキルを習得する。

内容

3日間の集合研修、事前課題・中間課題の提出

- ※事前課題：「評価シート(自己評価)」を事前提出
- ※中間課題：自らの地域でネットワーク構築を企画・実施し、後期研修前に企画シートを提出。 → 演習④で報告。
- ※演習は、地域包括支援センターの事例を使用する予定です。
- ※プログラム(予定)等、詳細については次ページをご覧ください。

受講対象者

●地域において利用者支援に携わる方● (高齢分野に限らず受講いただけます！)

- ・地域包括支援センター職員
- ・市町村職員
- ・社会福祉協議会職員
- ・生活支援コーディネーター
- ・障がい者相談支援センター職員
- ・介護支援専門員
- ・施設、病院相談員 等

受講者の声

- これまでは自己流でネットワークづくりをしていたが、その基本、根拠を学び、今後は効率的にネットワークを築いていくことが可能となると考えた。
- ソーシャルワークの定義、地域包括ケアの概念、ネットワーク構築に関する施策を改めて振り返ることができた。そのうえで、ソーシャルワークにおける目的を達成していくための一手段にネットワーク構築・活用があること、そのプロセスや持つ機能と重要となる視点が学べとても参考になった。
- 日々の実践のための演習が盛りだくさんでとても有意義だった。会議のロールプレイや企画の仕方など学べて良かった。企画シートは実践の良いツールなので、今後の業務でも利用していきたいと思う。
- ロールプレイはとても良い体験だった。参加者それぞれの立場や感じ方を理解することができ勉強になった。

研修単位 ●本研修は、認定社会福祉士認証・認定機構により認証された研修です●

【研修認証番号】20170010

【研修単位】1単位

【認証科目】科目名：地域包括ケア(高齢)

科目の区分：分野専門(高齢分野)

科目の群：ソーシャルワーク機能別科目群

受講費 社会福祉士会会員 17,000円
会員以外 32,000円

日程	時間(分)	プログラム (予定)	
		※講師は、本会の高齢者支援班運営委員や会員が担当します。	
事前課題	「評価シート(自己評価)」を記入し、事前提出(提出期限:6月19日(水)必着) ※評価シートや、その記入方法等については、受講決定通知でご案内いたします。		
前期 1日目 7月12日 (金)	9:30~10:00 (30)	受付	
	10:00~10:15 (15)	オリエンテーション	
	10:15~12:15 (120)	講義①「ソーシャルワーク実践におけるネットワーク構築・活用の意義」	
	12:15~13:15 (60)	昼食休憩	
	13:15~16:30 (195) ※途中、15分休憩あり	演習①「個と地域の一体的アプローチ」 個の支援から地域全体への支援につなげる視点を、演習をとおして学ぶ。	
前期 2日目 7月13日 (土)	8:45~ 9:00 (15)	受付	
	9:00~12:00 (180) ※途中、10分休憩あり	演習②「組織・関係機関のネットワークづくり」 組織・関係機関のネットワーク構築を進めるプロセスについて学ぶ。	
	12:00~12:50 (50)	昼食休憩	
	12:50~15:50 (180) ※途中、10分休憩あり	演習③「地域ネットワークづくり」 地域アセスメントの方法、地域ケア会議の招集・実施の場面演習をとおして地域関係者との調整方法を具体的に学ぶ。	
	15:50~16:00 (10)	休憩	
	16:00~16:40 (40)	講義②「中間課題の説明」	
中間課題 (前期終了後)	自らの地域でネットワーク構築の企画、実施(後期開始前に企画シートを提出) ※企画シートや、その記入方法、提出期限等については、講義②で説明いたします。		
後期 1日目 11月22日 (金)	9:30~10:00 (30)	受付	
	10:00~12:00 (120)	演習④-1「中間課題の報告会」 各自が作成した中間課題を報告し合い、互いのソーシャルワーク実践から学びを深める。	
	12:00~13:00 (60)	昼食休憩	
	13:00~15:00 (120)	演習④-2「中間課題の報告会」 演習④-1に同じ	
	15:00~15:10 (10)	休憩	
	15:10~16:00 (50)	演習⑤「総括演習(まとめと振り返り)」 プログラム全体を振り返る総括演習として位置づけ、地域を基盤としたソーシャルワーク実践におけるネットワーク構築とこれを具体的に活用していくための視点を再確認する。	
	16:00~16:15 (15)	閉会	

■受講要件 3日間全てのプログラムに出席し、事前課題や中間課題を提出できる方。

- ・課題が提出されない場合、研修は継続できなくなります。
- ・課題が修了評価の基準に達しない場合はレポートの提出を求めますが、それでも修了評価の基準に達しない場合は、研修を修了できないこととなります。

■修了要件 3日間全てのプログラムに出席し、提出された課題の評価が「可」であること。